

深尾 京司 (ふかお きょうじ)

略歴：

一橋大学経済研究所長・教授。専門は国際経済学、マクロ経済学、経済発展論。経済学修士（東京大学）。東京大学経済学部卒業、東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。一橋大学経済研究所講師、一橋大学経済研究所助教授を経て、現職。イェール大学客員研究員、ボストン大学客員研究員、ボッコロニ大学客員教授、等を歴任。現在、内閣府統計委員会委員・委員長代理、文部科学省科学技術政策研究所第一研究グループ客員総括主任研究官、経済産業研究所プログラムディレクター、OECD WPIA（産業分析のためのワーキングパーティー）副議長、アジア歴史経済学会（AHES）執行委員、ウォーリック大学 CAGE 研究員、フローニンゲン大学マディソン・プロジェクト顧問、Comparative Analysis of Enterprise Data（CAED）執行委員、日本学術会議連携会員。

主要著書：

深尾京司『「失われた 20 年」と日本経済：構造的な原因と再生への原動力の解明』、日本経済新聞出版社、2012 年 3 月、日経・経済図書文化賞受賞。

Paprzycki, Ralph, and Kyoji Fukao, *Foreign Direct Investment in Japan: Multinationals' Role in Growth and Globalization*, Cambridge University Press, March 2008.

深尾京司・宮川努編『生産性と日本の経済成長：JIP データベースによる産業・企業レベルの実証分析』、東京大学出版会、2008 年 3 月。

深尾京司・天野倫文『対日直接投資と日本経済』、日本経済新聞社、2004 年 5 月、NIRA 大来政策研究賞受賞。